

栃木市立大宮北小学校

— 開会 —

進行：教頭 記録：主幹教諭

10月29日(火) 13:50~16:00

1 教室訪問（授業参観）5校時 13:55~

【順路】 いろいろ教室 ⇒ 1年2組 ⇒ 1年1組 ⇒ 1年3組（2年生との交流）

※ 第1回で授業参観ができなかった1年生といろいろ教室（校内教育支援センター）を5分程度ずつ参観した。

2 あいさつ

(1) 会長あいさつ

(2) 学校長あいさつ



3 協議（抜粋）○学校より ☆協議・意見等

(1) 今後の学校行事について（主幹教諭）

○主要行事や学校運営協議会委員に関連する行事の確認。

☆特になし。

(2) 小中一貫教育の取組について（教頭）

○小中一貫教育で目指す子ども像や組織体系、取組例を紹介。

☆児童生徒の交流について

・大宮南小6年生との交流再開に向けて

・東陽中生の職場体験による交流 等による成果の確認。

(3) 学校評価について（教頭）

○目的や評価項目、オンラインでの実施等、概略を説明。

☆保護者に伝わりにくい質問項目が見られる。

・学校からの発信を工夫するとよいのではないか。

・項目検討時にPTA役員に事前チェックしてもらうのはどうか。

(4) いじめ防止基本方針について（教頭）

○いじめ防止基本方針の見直しを行った。事前指導の大切さを教職員で共有している。

☆いじめについて

・いじめ未然防止に努めているが、いじめ発生時には早期発見・早期対応を心掛け、継続した指導を行っていく。

☆不登校について

・理由は様々だが、高学年に多い傾向がある。いろいろ教室が有効に機能している。

☆SNSトラブルについて

・動画投稿によるトラブルあり。学校では発達段階に応じた指導を行

うが、家庭との連携も必要。

- ・保護者が見えていないこともあるので、学校からの発信は必要。画像のアップなどについては、保護者への理解を深めることも大切。
- ・読み聞かせ等で教室に行くと、個性的な児童がいても周りが温かく受け入れている雰囲気作りがとてよい。
- ・子どもたちに寄り添った指導を続けてほしい。

(5) 令和7年度以降の課外活動について（主幹教諭）

【提案】○令和7年度以降の課外活動（体育的活動）は行わないものとする。

【根拠】

- ① 学校体育連盟主催の陸上交歓会等が今年度で終了となるため。
- ② 中学校において部活動の地域移行を進めているため。
- ③ 教職員の働き方改革を推進するため。

【協議】☆委員から意見をいただく。

- ・本当に陸上をやりたい児童が中学校からやっていくことができるのか。クラブや外部団体の紹介はしてほしい。大会がなくなってしまうことは仕方がない。
- ・地域差は見られるが、部活動の地域移行は進められている。このことを考えると小学校も同じではないか。
- ・賛成。地域の中で行っているところもある一方、陸上参加を学童に預ける的な感覚で捉えている家庭もあると聞いたことがある。
- ・教育活動外の余力の中で行ってきたことであるが、専門性も必要。大人目線で動かすのではなく、児童目線で考えていくべき。自分磨きをした上で成果が認められるのであって、児童の思いに耳を傾けるべきである。

【総括】☆大会がなくなることはきっかけとして来年度以降の課外活動（体育的活動）はなし。ただし、児童への情報提供は進めてほしい。ゆくゆくは他の活動（音楽・学習）も検討の余地あり。

(6) その他、意見交換（授業参観等）

○いどろ教室が児童にとって、安心できる環境になっている。いい場所留めるのでなく、教室との連携を通して教室に戻っていける流れを構築していくことが大切である。

○1年生が落ち着いた雰囲気の中、授業に取り組んでいる姿が見られた。

○1・2年生の交流活動について、1年生の雰囲気や2年生との関係性がよかった。2年生主体となって活動している点がよい。

4 事務連絡

第3回学校運営協議会について、教頭より説明を行った。

— 閉会 —